

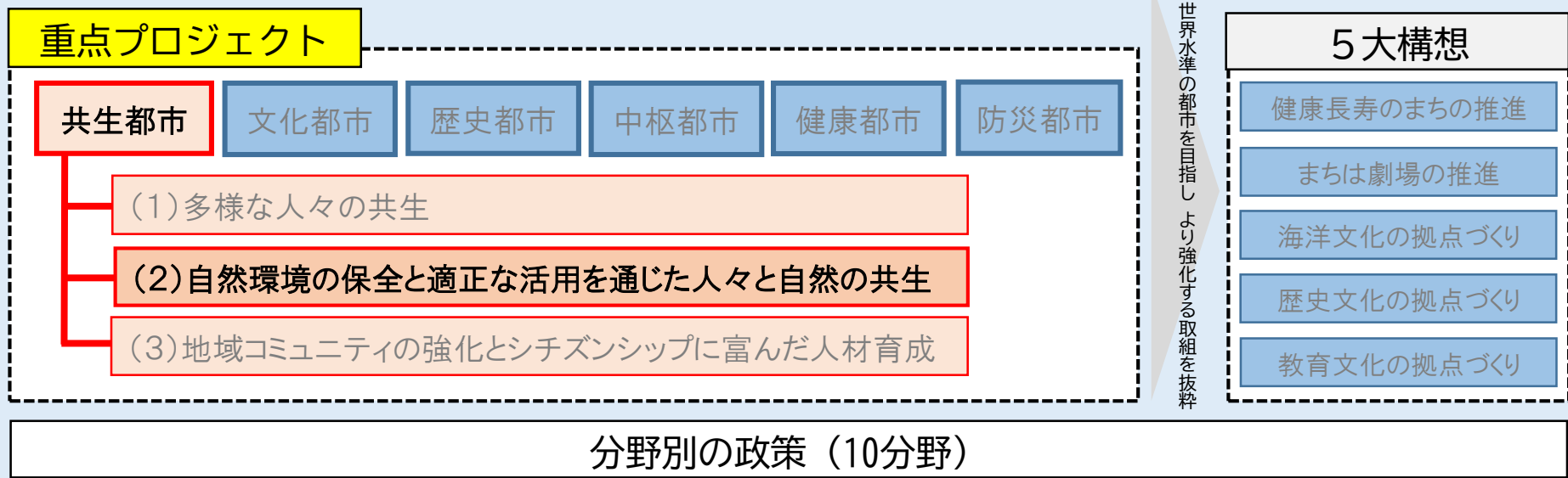
【共生都市】

自然環境の保全と適正な活用を通じた
人々と自然の共生

令和5年3月

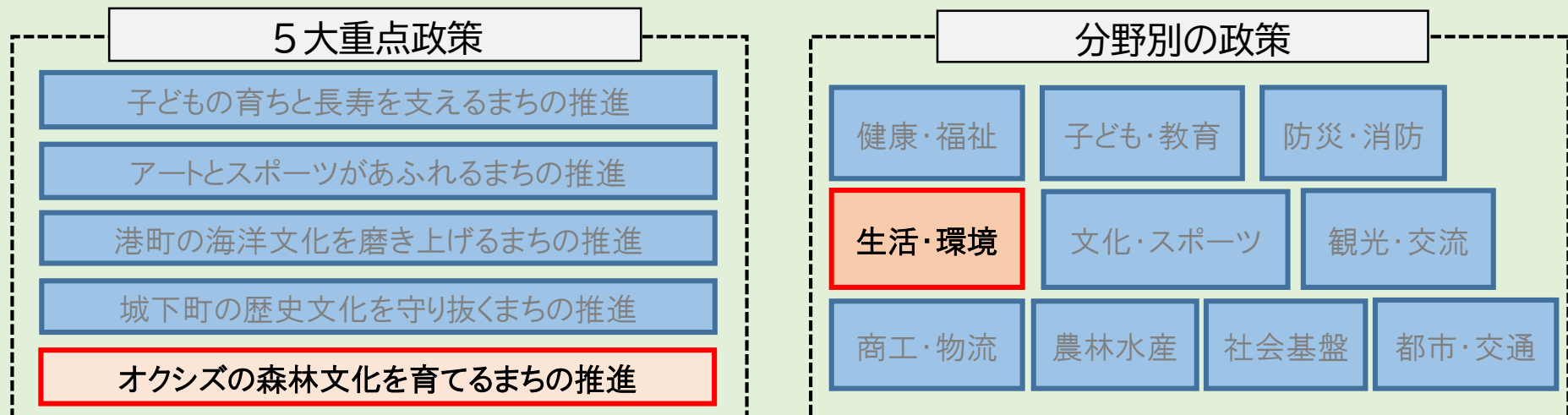
1.政策の位置づけ

第3次総合計画



第3次総合計画の取組結果を踏まえて、第4次総合計画へ

第4次総合計画



(概要)

ユネスコエコパークに登録された南アルプスを始めとした本市が有する多彩な自然環境の保全と適正な活用を図り、人々と自然との共生を推進する。

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進

○「守る」「調べる・学ぶ」「活かす」「伝える・管理する」という4つの視点から、南アルプスを守り、継承していく。

守る	自然環境の保全 ●ライチョウや高山植物などの貴重な動植物の保護 ●自然環境・景観への配慮 ●市民、事業者、関係団体、専門家、行政等の連携強化	調べる 学ぶ	調査と教育 ●自然環境や生活環境のモニタリング ●環境保全意識の醸成 ●地域の自然や歴史、文化を学ぶ環境の充実・整備
活かす	地域の持続的な発展 ●地域の魅力の磨き上げ ●地域を担う人材の育成 ●交流人口の増加 ●交通アクセスの向上	伝える 管理する	理念の継承と管理運営体制の構築 ●国内外への情報発信 ●各主体の連携による管理運営組織の構築

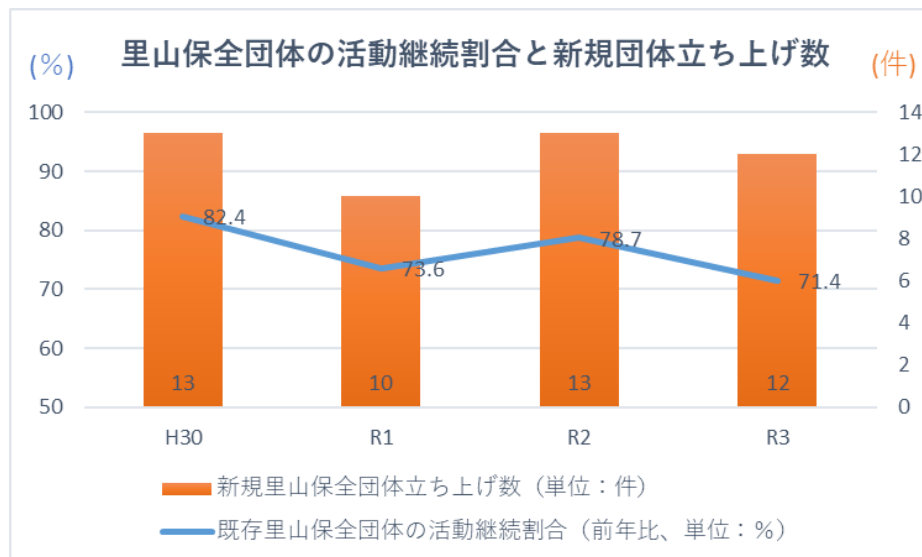
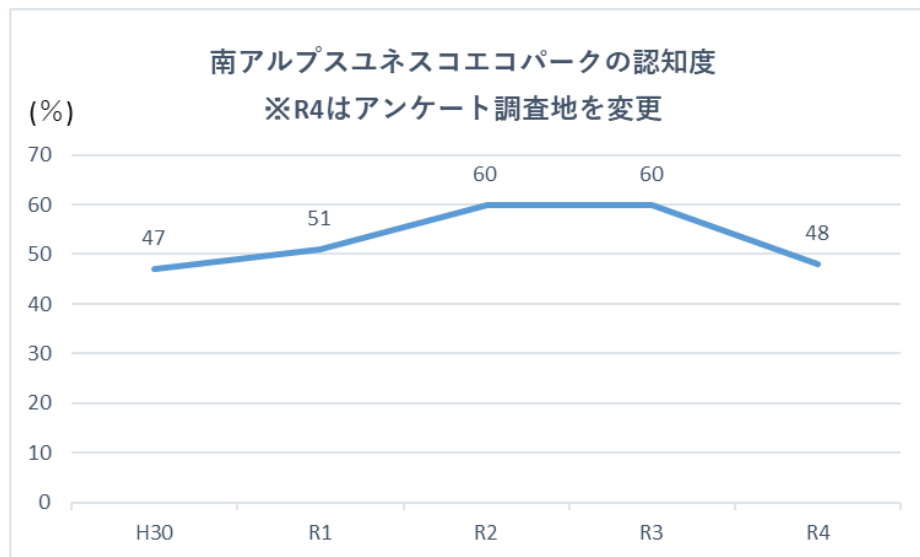
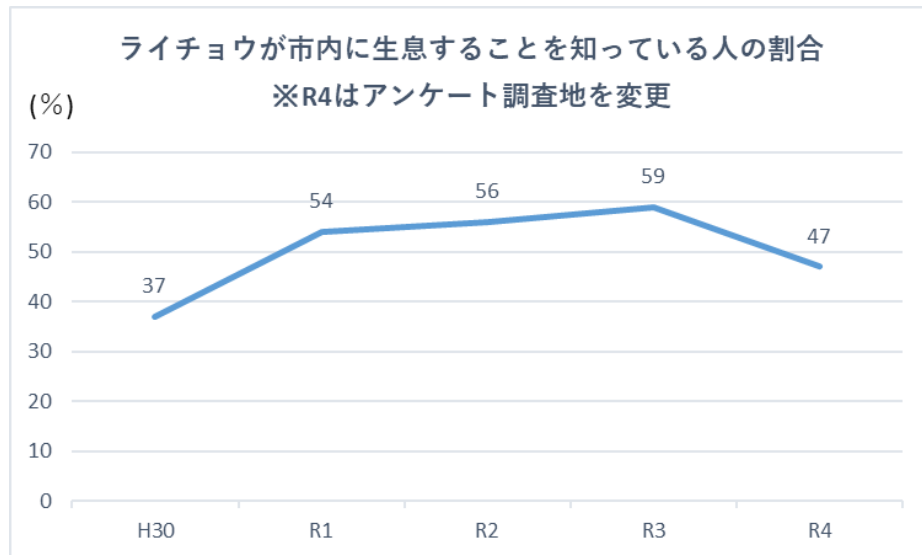
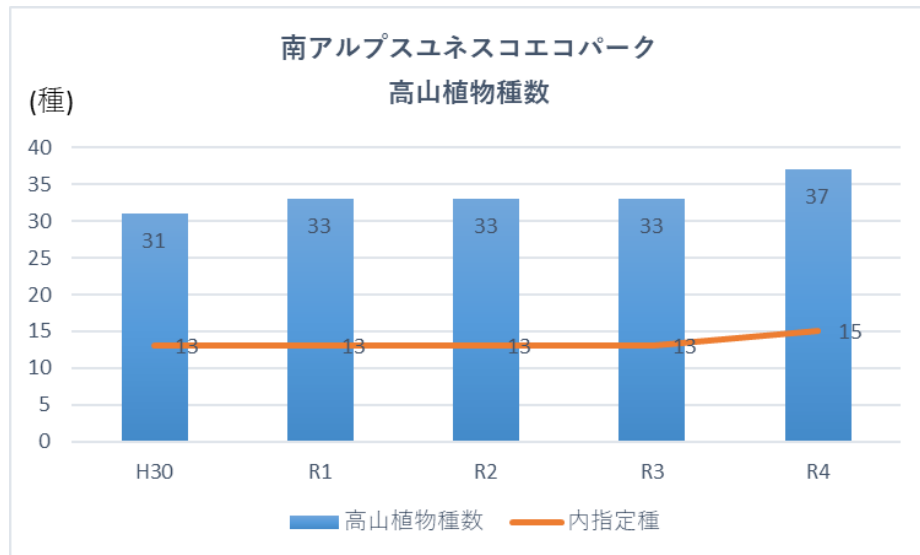
都市の里地・里山機能の保全

○里地里山の自然環境の保全と再生を推進し、活動する市民や団体を支援しながら、活動の継続や普及を図っていく。

- 放任竹林対策による里地里山機能の維持
- 里地里山の荒廃による有害鳥獣対策
- あさはた遊水地の整備と活用

	3次総 前期				3次総 後期				4次総
	H 27	H 28	H 29	H 30	R1	R2	R3	R4	R5
エコパーク【守る】	<南アルプス管理運営計画推進事業> ・高山植物保護事業（防護柵設置・セミナー開催） ・ライチョウ保護事業（生息状況調査・サポーター制度運用） ・リニア中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復にかかる検討								
エコパーク調べる学ぶ	<南アルプス環境調査事業>・自然環境や生活環境等の変化を把握 <井川自然の家整備・活用> 学校教育との連携による野外活動、自然体験活動の提供 耐震工事 改修工事 家族向け宿泊施設増/バリアフリー化								
エコパーク活かす	<地域資源を活かしたプログラム> 井川自然の家主催事業、宿泊体験等の実施及びそのPR <交通アクセス向上> 自主運行バスの運用 井川湖 船舶更新 井川湖 待合所更新								
エコパーク伝える管理する	<普及啓発> イベント参加・HPやSNS、パンフレットの多言語化による啓発活動 <協議会による関連自治体・団体との連携> ・南アルプス自然環境保全活用連携協議会/南ア静岡地域連携協議会等								
都市の里地里山機能の保全	【放任竹林対策】 <竹林対策関連団体への活動支援> <竹林整備隊の取組> 【あさはた遊水地の整備と活用】 <第一工区工事> <地域での運用体制構築> <地域に根差す重要種の保全と復元> <指定管理者選定> <供用開始> 【農産物保護のための鳥獣害対策】 ・勉強会等の実施/緩衝地帯の整備/防護柵等の補助金交付								

2. 関連する指標の状況



3.各事業の実施状況

主要事業名	主な活動内容	年度	予算額 (千円)	繰越額 (千円)	決算額 (千円)	人工	
						正規	会計年度任用
南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業	①防鹿柵維持管理 ②高山植物保護セミナーの開催 ③ライチョウサポーターフォローアップ講座等の開催 ④HP「南プス」の更新 ⑤普及啓発展示の実施	R1	5,403	0	4,949	1.5	0.0
		R2	4,222	0	3,580	1.5	0.0
		R3	6,440	0	4,193	1.5	0.0
		R4	6,328	0	4,721	1.5	0.0
南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業	主に青少年を自然に親しませ、自然環境の中での集団訓練、野外活動、自然探求等を通じて、豊かな情操を培い、心身共に健全な青少年の育成を図るとともに、市民に自然探求その他の自然に関する学習の機会を提供する。	R1	11,329	0	8,593	4.0	0.0
		R2	7,714	0	4,592	4.0	0.0
		R3	5,245	0	1,938	4.0	0.0
		R4	4,983	0	—	4.0	0.0
南アルプス周辺登山道整備事業	登山者の安全を確保する登山道、山小屋の修繕、工事等を実施 ・登山道修繕/工事(茶臼岳、聖岳、千枚岳他) ・山小屋修繕(百間洞山の家、熊野平小屋、高山裏避難小屋、ウソッコ沢小屋)	R1	7,000	0	4,478	0.3	0.0
		R2	155,000	0	36,422	2.0	0.0
		R3	5,000	109,100	110,112	2.0	0.0
		R4	12,000	0	4,000	0.4	0.0
井川湖渡船船舶及び待合所更改事業	・渡船(第二聖丸)の更新 ・渡船待合所の更新	R1	41,500	0	0	0.3	0.0
		R2	0	28,627	28,627	0.3	0.0
		R3	34,162	0	17,607	0.3	0.0
		R4	12,000	15,143	25,789	0.3	0.0
井川地区林道及び東俣線ゲート管理	①井川地区林道管理業務の実施 ②井川地区林道の修繕及び崩土処理の実施 ③東俣線ゲート管理業務の実施 ④東俣線管理業務の実施	R1	11,354	0	10,646	1.5	3.0
		R2	11,526	0	38,578	1.5	3.0
		R3	16,647	0	16,460	1.5	3.0
		R4	12,846	0	10,757	1.5	3.0

※令和4年度の決算額及び人工については、見込の数値。

主要事業名	主な活動内容	年度	予算額 (千円)	繰越額 (千円)	決算額 (千円)	人工	
						正規	会計年度任用
南アルプス環境調査	①動植物調査 1年度実施 ②植生調査 1年度実施	R1	9,800	0	9,259	0.5	0.0
		R2	3,300	0	3,300	0.5	0.0
		R3	7,887	0	4,796	0.5	0.0
		R4	6,800	0	6,798	0.5	0.0
自主運行バスの運用	井川地区自主運行バスの運用 ※予算決算及び人工は、他の自主運行バスに係る経費と人工を含む	R1	106,447	0	106,054	1.2	0.0
		R2	110,585	0	110,585	1.2	0.0
		R3	109,931	0	109,585	1.2	0.0
		R4	113,657	0	—	1.2	0.0
麻機遊水地関連事業 あさはた緑地整備事業	①麻機遊水地保全活用推進協議会（負担金支出） ②河川海岸環境整備事業（負担金支出） ③公園施設の設計・整備：約6ha ④公園施設の維持管理（R3～）	R1	115,977	23,617	139,585	1.4	0.0
		R2	191,994	127,560	252,517	1.4	0.0
		R3	161,627	64,289	226,285	1.4	0.0
		R4	66,040	0	65,640	1.4	0.0
放任竹林対策事業	①放任竹林対策推進事業補助金交付 ②放任竹林整備事業用消耗品等支給 ③自走式竹破砕機の貸出 ④市による委託伐採と団体による伐採地管理	R1	9,881	0	8,130	1.2	0.0
		R2	9,386	0	8,180	1.2	0.0
		R3	9,957	0	8,699	1.2	0.0
		R4	10,425	0	9,091	1.2	0.0
野生鳥獣被害対策事業	防護柵の設置に対する補助金交付、人里に野生鳥獣を近づけない草刈り・藪払いを行う 緩衝地帯整備事業、被害防止目的捕獲許可や防除方法等についての勉強会の実施	R1	141,309	0	132,934	3.0	0.8
		R2	151,434	0	110,988	3.0	0.8
		R3	150,625	0	111,692	3.0	0.8
		R4	132,672	0	106,396	3.0	0.8

※令和4年度の決算額及び人工については、見込の数値。

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の着実な推進

1. 高山植物保護（中岳避難小屋周辺の防鹿柵とクロユリ）

千枚小屋、中岳避難小屋、熊の平小屋周辺に防鹿柵を設置。
特に、中岳避難小屋周辺のクロユリが回復傾向にある。



2. 環境学習（南アルプス高山植物保護セミナー）

市内高校生を対象に、植生調査や防鹿柵設置等体験学習を実施し、南アルプスの魅力、環境保全について理解と関心を高めた。



3. 南アルプスライチョウサポーター制度運用

954名のサポーターを養成、ライチョウ発見時の報告やライチョウにかかる普及啓発の推進に寄与した。

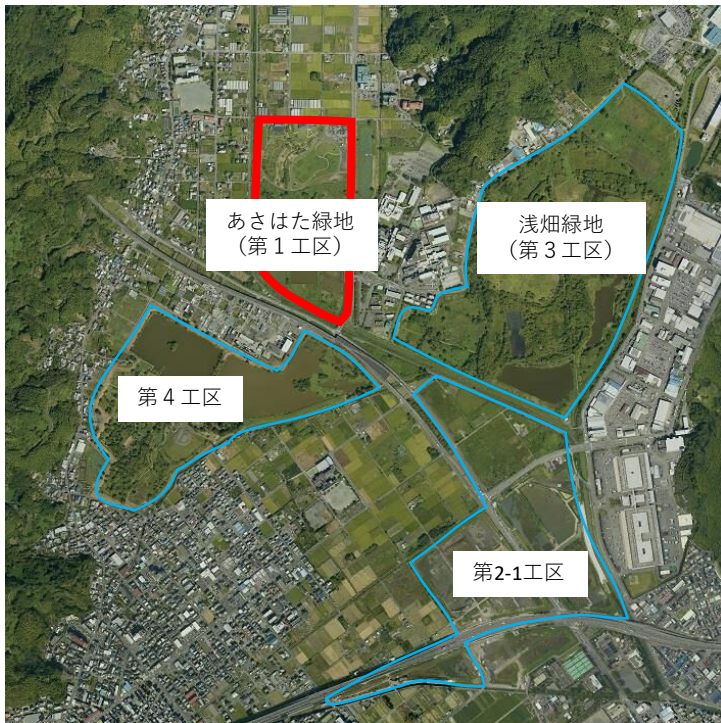


4. 情報発信（HP、SNS等）

HPIはH27から開始し、現在は年間約25万PV。
InstagramはR4から開始し、現在はフォロワー数1083人。



あさはた緑地整備(里地里山の保全 関係)



令和3年4月に全面供用開始したあさはた緑地は、静岡県が治水対策で整備した麻機遊水地第1工区に県市連携で「自然とふれあう体験型の都市緑地」をコンセプトに整備した。市街地に近接した豊かな自然を満喫することのできる環境を市民に提供するため、静岡市の公園として初の指定管理者制度を導入した。常駐する職員が利用者のきめ細かいニーズに対応するとともに、地域住民が自然の再生と賢明な利用による地域の活性化を目指し活動する「麻機遊水地保全活用推進協議会」と連携しながら、絶滅危惧種のミズアオイ観察会や麻機地域の特産品であるレンコン掘りなどの体験を提供している。



あさはた緑地センターハウス



初秋のミズアオイの観察



初冬のレンコン掘り体験

放任竹林対策の実施と団体の継続的な活動を支援

ボランティアで放任竹林の伐採を行う里山保全団体に対し、取組継続を支援。

- ・竹破碎機の貸出
- ・軍手や安全靴、鋸、鎌など消耗品の支給
- ・補助金の交付(竹林整備事業 / 竹材利活用・環境教育事業)



貸出用の竹破碎機



整備される前の竹林（市HP掲載写真）



整備作業の様子（市HP掲載写真）

市で運用する環境総合ウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」を通じ、里山保全団体の活動を広く周知している。

一方、構成員の高齢化等により持続性が危ぶまれる団体もあるため、令和元年度から、「新規に活動する人材の確保」に向けた取組を開始。

これから活動を始めたいと人と既存の団体とをつなぐ竹林整備隊事業を行っている。

令和元年度	賤機山	8名参加
〃	谷津山	8名〃
2年度	新型コロナ感染拡大のため中止	
3年度	宇津ノ谷	18名参加
4年度	吉津	7名〃
〃	向敷地	16名〃
〃	梅ヶ谷	13名〃
〃	谷津山	19名〃

- ・南アルプスユネスコエコパークに関する取組は、管理運営計画をベースとして、4次総においても継続して取組む。
- ・3次総期間中には普及啓発、情報発信に取り組んだが、南アルプスユネスコエコパークの認知度を課題として考えている。そのため、5大重点政策に搭載される南アルプスユネスコエコパーク賑わい創出や市民参加型自然環境保全等の取組により、現地体験を通じた認知度の向上を図る。
- ・里地里山の保全に向けては、放任竹林対策事業等に継続して取組み、継続した団体支援による担い手の維持や人材育成を図っていく。令和3年度に第1工区が共用開始されたあさはた緑地においても、関係団体等と協力して、地域で行われている保全活動等の取組を知る機会を提供することで、環境教育に係る意識醸成を図っていく。

南アルプスを始めとした貴重な自然があり、これら次世代に継承していくためにも、市民が自然から享受する様々な恵みを理解し、誇り、守るための心を育てていくために取り組む。



分野別計画

分野4 生活・環境



5大重点政策

オクシズの森林文化を
育てるまちの推進